



発行所: 自由民主党京都府参議院選挙区第三支部  
 〒615-0062 京都市右京区西院坤町2  
 ハウスドゥ四糸ビル601  
 TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人: 二ノ湯 智  
 国会事務所  
 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
 参議院議員会館921号室  
 TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
 題字: 栢木寛照

# えとす

平成30年 11 月号  
 No.309

京都の智恵を日本に活かす。  
 二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 依然として高い安倍内閣支持率 国民が評価する外交活動



APECでの安倍首相 (出典: 首相官邸ホームページ)

### 高まる日本国首相の存在

今国会の最大の目玉である外国人労働者の受け入れを拡大する出入国管理・難民認定法改正案は野党の執拗な反対にあっていたが、ようやく21日から衆議院で質疑入りした。若干問題がある法案とは言え、全く審議をさせないとはいかなものだろうか。法案は国会の審議の中で、その問題点を糺し、野党の主張も汲み取り、精緻な法案に仕上げていくことが国会の仕事であり、国会議員の責任である。このような態度をとり続けていく限り、どの野党も国民の支持は得られない。反対に、

安倍政権の支持率は依然として高い水準を維持したままである。国民は見るべきところは、しっかりと見ていくという印象を持つ。とりわけ安倍首相の積極的な外交への評価は高い。国際会議で堂々と各国首脳と渡り合う安倍首相の存在感は、歴代総理にならぬものである。

### 恒心

★政府は人手不足を解消するために外国からの労働者の受け入れ枠を拡大する方針である。そのために、今国会に出入国管理・難民認定法の改正案を提出している。この改正案を巡っては、野

党はもちろん、与党内でも多少異論もある。外国人労働者の受け入れ拡大を希望する業種は、14業種に亘っているが、今後更に増える可能性がある。

★日本は本当に労働者不足なのだろうか。私は疑問に思えてならない。かつて3Kという言葉が流行った。きつい、きたない、危険な仕事だと言うことである。日本の若い人はこの職業に就くことを嫌がっている。今回、政府が受け入れ拡大を図る業種は、まさに3Kが多い部門である。★日本人の若者が3Kを気にせず、その業種に就けば、人手不足にならないのではないか。いつから、日本人は現業仕事を嫌がるようになったのだろうか。手に職を付ければ、一生食うに困らないと思うのだが。人はいらぬのだが、就職してくれないと言うのが、現実ではないのか。★今、アジア諸国の人たちは、発展途上にあり、就職も難しいし、母国の賃金は安い。それと比較すれば、日本の収入はいいかもしれない。しかし、母国も経済が発展して、賃金が上がれば、日本にいる魅力は薄れるかも知れない。★外国からの労働者は、派遣会社を通じて日本の事業所で働くケースが多い。会社はそれなりの給料を出しているが、派遣会社に払われた給料は、かなり天引きされて、労働者に支払われるケースが多い。従って相当低い収入で働いているのではないかと想像される。派遣会社を通じなくても、ハローワークなどの機関を使って、外国人労働者を会社が雇用出来る制度を作る必要がある。

## 参議院定数増と経費削減 参議院自民党議員団で 議論を交わす

前回の参議院選挙は人口減少が著しい四国(徳島、高知)、山陰の(鳥取、島根)が合区されて一つの選挙区となり、選挙区が非常に広くなった。そのため、有権者と議員の距離が遠くなり、地元から強い不満の声が出ていた。合区解消のためには、アメリカの上院のように、州の大小にかかわらず、各州2名の議員を選出するのと同じように、各都道府県から2名を選出する方法をとればよい。しかし、それには憲法を改正しなければならない。自民党の憲法改正案には、合区解消案が入っているが、憲法改正は簡単にはできない。比例区を4名、人口増加が著しい埼玉県を2名増やし、比例区で特

## 動き出す国道1号線バイパス 東京で建設促進協議連総会

国道1号線大津～山科間は、慢性的な渋滞で、経済、産業活動が大きく阻害されている。渋滞を解消し、交通をスムーズにするには、以前から、1号線バイパスを建設する必要があると京都、滋賀双方から声が上がっていたが、両府県の政治的立場の違いもあって、共同で取り組みまでには至らなかった。ようやく昨年、京都府、滋賀県選出の自民党国会議員団でバイパス建設促進の議員連盟を結成

定枠を設ける公職選挙法改正案が7月に成立した。特定枠を使って、合区によって選挙区から擁立できない現職議員を救済する。改正案によって、参議院議員の定数は6名増加するが、それによって参議院全体の経費が増大することのないよう、その節減について必要かつ十分な検討を行うことと附帯決議が付されている。参議院は半数が改選、来年の選挙後、定数が3名増えると、3年間の費用の総額は約6億7千7百万円が必要とされる。定数減は国、地方の議会の流れとなっているが、必要な定数増は一概に悪いとは言えないが、マスコミはじめ国民から強い批判の声が挙がることは確実である。そこで考え出されたのが、議員歳費の減額によって全体の経費を増やさないという案である。議員歳費の削減につ

しようとする動きが出てきた。滋賀県連会長の上野賢一郎衆議院議員、京都府連会長の二ノ湯智参議院議員が中心になって、3月に京都市で議員連盟を発足し、二ノ湯参議院議員、上野衆議院議員が、代表世話人を務めることになった。8月には大津市で「新しい国道1号線バイパス建設促進期成同盟会」を立ち上げ、会長に三日月大造滋賀県知事を選出した。11月1日には、平成31年度の国家予算で、道路整備に必要な予算を獲得するために、東京で建設促進議員連盟総会を開いた。総会では、一日も早い整備に向けて、議

いては、様々な意見があるが、国民に分かりやすく、また国民に訴えやすい手段であることは確かである。具体的には、平成31年7月～平成34年7月まで、議員歳費から、議長は12万9千円、副議長は9万4千円、議員は7万7千円を減額する。この案は、先日開かれた参議院自民党議員団で了承されたが、議員の間からは、次のような様々な意見が出された。

- 歳費削減措置はデフレを促すだけ。参議院選挙期間の短縮なども検討すべき。
- 歳費削減で国民の評価は得られないのではないか。
- やはり歳費削減をしないと身を切る改革にならない。参議院の一般事務費の削減と併せて二本柱でやるべき。なかでもペーパーレス化等は、積極的に進めてほしい。
- 定数増の法案が成立し、附帯決議がある

議員連盟の総意として2つの事項を決議した。決議の内容は次の通りである。(1)滋賀・京都間の国道1号に関する調査を推進し、バイパス建設に向けた計画を早期に策定すること。(2)新たな財源を創設するとともに道路整備に必要な予算の確保に務めること。その後、京滋の国会議員は、会長の三日月滋賀県知事、越前津市長、山下周都府副知事、植村京都市副市長はじめ、京都、滋賀の自治体関係者と一緒になって国土交通省、財務省へ陳情活動を行った。国土交通省、財務省の関係者の感触は非常によく、この事業

る以上、その経費は与野党超えて参議院議員全員の責任。一番分かり易いのは議員歳費から経費を負担すること。自民から提案した定数増が通った以上、自民の中でどう負担するか意見の一致を見るよう努めるべき。

○定数増について、世論の動向が厳しい中、何もしなければマイナス。プラスでなくとも、責任政党として、身を切る分限り易い措置を示すべき。

この案も3年後に、人口減少県が増えれば、合区問題が再び浮上し、また定数増が論議されることが、予想される。従って、この案も抜本的な解決策とはならないかも知れない。急ぐべきは憲法改正であるが、これも非常にハードルが高い。参議院の定数問題は、いつまでも尾を引く、頭の痛い問題である。

は順調に進行するという印象を持った。ただ、京都市の山科側は、宅地化が進んでおり、用地買収などで、どこまで地元住民の理解が得られるかがカギとなる。



財務省で上野財務副大臣に要望書を手渡す



### 谷垣先生有隣会に出席 事故以来同志と語り合う

一昨年7月自転車事故で頸椎を損傷して下半身不随となり、政界を引退した谷垣禎一氏が事故以来初めて同志の会(有隣会)に顔を見せ、約1時間同志と語った。外出できるまでに回復した谷垣氏はしっかりと口調で、有隣会の議員の前で、次のような挨拶をした。(話し言葉のまま)

『私は去年の10月の選挙でこれは、それまではもう少し希望を持って現役で働けるかなと思いついてやっていたのですが、急な選挙でも選挙に出るところまでは回復してないと思いついて、政界から引退しようということで、本田太郎さんに選挙区で立派に後を継いで頂いておられます。すべて本田さんにお任せして、あとは少しでもリハビリを進めようとしてきたところでございます。私はもう引退をしましたので、いろんなことを申し上げる限りではありませんが、私が入院したりあるいは家で養生しております間に随分政治の世界の様子も変わったなと思います。日本国内もそうですけども、アメリカにせよヨーロッパにせよ、あるいはアジアにせよ、大変大きく変わって今まで我々が常識だと思っていたことだけでは必ずしも物事が進んでいかないようになってきたんじゃないか。養生しておりますと生の情報があんまり入っていませんので勝手にそういうことを妄想しているだけなんです、今現役のみな

さんがお仕事をしておられると、そういった中で我が国はどっちの方向へ持っていくのか、大変なご苦労があたりだろうと思っております。ぜひぜひこういう時にそれぞれのご経験を活かして日本の政治の将来、それからさらに大きく発信して世界の政治のあり方などにより影響を与えられるように有隣会のみなさんにぜひ頑張ってもらいたいと思っております。その後は、京都に帰る予定があるかという問いには、「京都府連にも挨拶に行かないかと思っておりますが、新幹線に乗れるようになるのには、もう少し時間がかかるのでは。」そして、「この間、官邸に行ったり、衆議院議長に会ったりしたので、それならと見舞いに来て下さる方があるのですが、結構まだ疲れるんですよ」と語っていた。京都の人にメッセージを向けたと、「長い間、いろんな人にお世話になりました。30数年にわたって支えて頂いて、感謝以外ないですね。」と京都に帰る気持ちが強いことが伺えた。



### 舞鶴市根強い保守地盤 自民公認、推薦候補全員当選

11月11日告示された舞鶴市議会議員選挙は、18日に投票が行われた。今回の市議会選挙は、前回より2議席減の定数26議席。全国の地方議会選挙では議員の成り手不足が目立つ中、舞鶴市では定数の8議席を上回る34人が名乗りを上げ、近來にない激しい、厳しい選挙戦となった。ベテラン議員といえども決して油断のない選挙情勢であった。自民党は今回の市議選で、6名を公認、3名を推薦し、強気の選挙態勢を組んだ。告示日には、二ノ湯府連会長、本田衆議院議員、池田府議会議員が公認、推薦として保守系無所属候補の合計14名の事務所を激励訪問した。さらに投票日前日には、西田参議院議員も舞鶴に入り、最後のテコ入れをした。開票の結果、公認、推薦、保守系

無所属議員の14名が、全員当選を果たした。友党の公明党も4名が当選して、多々見市長を支える議員が過半数を大きく上回り、盤石の議会構成となった。今後は、執行部と議会が互いに意味で切磋琢磨して、舞鶴市政の発展に尽力してもらいたい。なお、投票率は過去最低の56.76%であった。34人の立候補者が、連日選挙運動を展開したのに、市民の関心も高まると思われたのに、市民10人の内、4人が投票を棄権した事になる。地方議会に対する市民の無関心は困ったことである。

### 自民党府議会候補2名公認 上京、中京区で現職勇退

来年度の京都府議会議員選挙で、現職の林田洋(上京区)、植田喜裕(中京区)議員が、今期限りで勇退することになった。上京区、中京区の自民党支部では、広く人材を求めるために後継者を公募した。9月8日、募集要項を京都新聞、京都府連のホームページに掲載、9月28日に募集締め切り、上京区では4名、中京区では5名の応募があった。両支部では選考委員会を設置、



激励の挨拶をする二ノ湯府連会長

書類選考、面接を行い、慎重に選考作業を行った。その結果、上京区は女性の宮下友紀子氏(55)、中京区では青木義照氏(55)を次期候補者として決定、京都府連に推薦書が提出された。11月25日に開催した京都府連の選挙対策委員会でも2人を公認候補者とすることを承認した。新しく公認候補者となった2名は次の通りである。

#### 京都府議会議員選挙

上京区	宮下 友紀子	新
中京区	青木 義照	新

### 長岡京市長選 来年1月13日投開票 自民党府連 中小路市長を推薦

長岡京市長選挙は来年1月6日告示、13日に投開票の日程で行われる。前回の選挙は、自民党・公明党推薦候補と無所属で民主党府会議員、そして革新系無所属候補の三つどもえの戦いとなった。結果は民主系の中小路健吾氏が他の候補を大きく引き離して、当選した。就任以来、中小路氏は政党色を払拭し、自民党会派とも協調して市政運営をしてきた。長岡京市会議員団、自民党長岡京支部も中小路市長の4年間の実績、政治姿勢を評価し、独自の候補者擁立を見送り、中小路氏の推薦に踏み切った。長岡京支部から自民党京都府連に対して推薦申請書が提出され、それを受けて自民党府連選挙対策常任委員会は中小路氏(45)の推薦を11月6日に決定した。

### 来年の第二次統一地方選候補者 自民宇治、八幡市公認・推薦決める

来年4月21日に執行される第二次統一地方選挙において自民党公認、推薦で立候補予定者を、11月24日の京都府連選挙対策常任委員会で決定した。

#### 宇治市議会議員選挙

公認	久保田 幹彦	現
公認	堀 明人	現
公認	中村 麻伊子	現

### 西田昌司氏の渾身の力作

政治家は非常に忙しい。話は得意だが、物を書くことは苦手な人が多い。西田氏は口八丁、手八丁。しかも文章が書ける。最近五冊目の本を上梓した。どこにそんな時間があるのか、驚きである。誰にも臆せず、持論を展開する西田氏の著書をぜひ一読して貰いたい。

参議院議員 二ノ湯 智



公認	木本 裕章	現
公認	野川 正克	新
公認	西川 康史	新
推薦	北島 聡之	新

#### 八幡市議会議員選挙

公認	山田 芳彦	現
公認	中村 正臣	現
公認	奥村 順一	現
公認	田島 祥充	現

### 身辺雑記

一、戦時中日本企業に雇われた朝鮮からの徴用工。韓国の大法院(最高裁判所)が、新日鉄住金に、1人当たり1千万を払うように損害賠償を命じた。日本政府は1965年の日韓請求権協定によって解決済みの立場。当然である。

一、最近では会社の会議でも、紙の資料を席上に配布せず、タブレットを使用する会議が増えている。自民党の政調会でも、岸田会長の方針でタブレット会議に変わった。自分は紙無しに慣れていないと言っている時代になってきた。

一、ハロウィンは秋の収穫を祝い、悪霊を追い払う祭りである。それは歴史的な意味があるアメリカの文化である。それがどう間違ったのか、日本の若者が数日間、互って、渋谷で騒ぎまくっている。浅はかな日本人になってしまった。

一、かつて私の秘書をしていた男性が、強盗容疑で逮捕された。先輩の代議士から頼まれた人間とは言え、公式の秘書であった。任命権者としての責任は痛感している。従って、私も事務所もマスコミに正直に、誠実に対応した。

一、日産のゴーン会長が脱税の容疑で逮捕された。不振に陥った日産を立て直すために、フランスのルノー社から派遣された。次々と改革し、日産を復活させた。そのためゴーン氏に誰も意見出来

ず、彼は独裁者になってしまった。一、2025年万国博が大阪に決まった。前の万博を知っている人間からすれば、余り高揚感がない。決まった以上、これをテコに東京に劣っている道路交通網の整備に力を入れる必要がある。関西復権の最後のチャンスである。

#### 新春招福バスツアー

### 第32回 伊勢神宮初詣

◇旅行日 平成31年1月14日(月・祝)

◇昼食場所 旅荘 海の蝶

◇会費 10,000円

◇申込先 初詣実行委員会(二ノ湯さとし事務所内) TEL(075)315-2228  
またはアサキ観光社 TEL(075)821-0650

初詣実行委員会

### 「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

#### 新政経懇話会

年会費 1口1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228